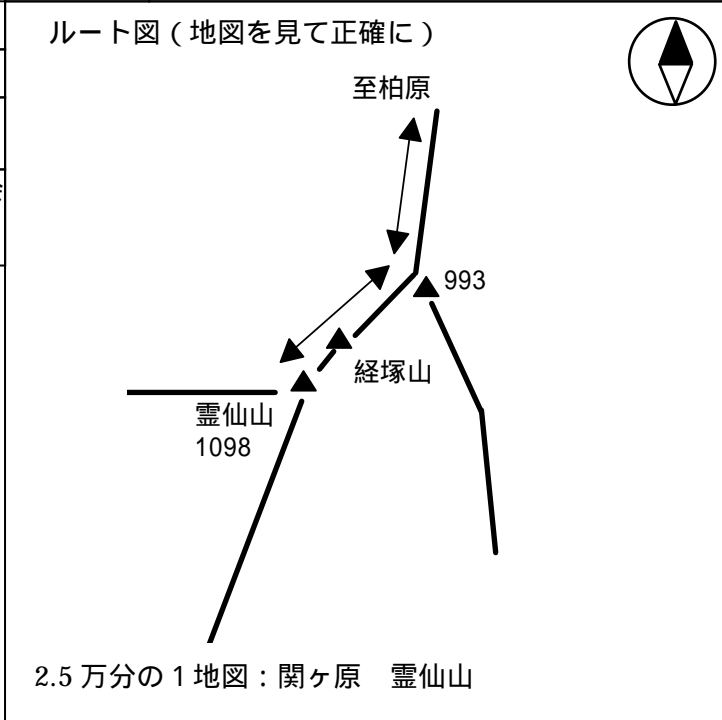


2 月度例会 山行 報告 書			報告者	大矢康裕	参加 メンバー	CL:大矢 板倉 亀山 福井
			報告日	3/7		
山 域	鈴鹿	山行日	01 年 2 月 17 日 (土) ~			
山 名	霊仙山		01 年 2 月 18 日 (日)			

山行目的	雪山トレーニング	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	----------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙:集会
担当者



2/17
20:00 刈谷発
23:00 JR 柏原駅

2/18 晴
6:00 起床
7:30 登山道取付発
8:25 1 合目
8:35
9:40 920mp
9:55
10:15 小屋(崩壊)
11:30 霊仙山三角点
11:50
12:50 920mp
13:00
14:30 登山道取付着

山行報告 2/18、前夜発組と柏原駅で合流すべく、5 時名古屋発。登山口を偵察した後、6 時半頃柏原駅に着いた。前夜は積る話があったらしく、遅くまで話し込んでいたとのこと。7 時半、登山口の養鶏所に車を置いて出発。ここから県境稜線に出て尾根を登るルートが一番ポピュラーな積雪期ルートだ。下からみるとあまり雪はなさそうなので、アイゼン・ワカン置いて行く。他にも何人が登山者がいて、意外と登る人が多いのに驚く。ルートは、県境稜線に出る 1 合目までは、沢沿いに登る。調子よく登って、1 合目で一本取る。(雪 10~20cm)トレースがしっかり踏まれており、歩きやすい。4 合目下から見る伊吹山の雪を抱いた勇姿は、まるで小さなキリマンジャロだ。4 合目に避難小屋があり、ここは利用可能。だんだん積雪が増えてきて 40~50cm ぐらい。920mp で一本。上の小屋が見え出した。この辺りは 1m 程の積雪だが、踏み固まっているのでラッセルは不要。ただし、暖かくなってきたので、所々ずぼとはまる。993mp は北側を巻くが、トレースがないと分かりにくい。更にちょっとした急坂を登ると、1017mp の崩壊した小屋の横に出た。単独行の登山者がワカンに良く似た新兵器を装着してスイスイ登っていく。

鈴鹿らしからぬ雪原を登り切ると、11 時半霊仙山の三角点ピーク着。折角の好天なのにカメラを忘れてしまい、他の誰も持ってこなかったのが残念。帰りは、920mp で霊仙山ピークを巡り読図講習会。結論は、霊仙山ピークは 1017mp ともう一つ向うのピークで隠れて見えないことに落ち着いた。あとは、一気に登山口までまっしぐら。

リーダー所見 計画書で登山ルートが明記してなくて、前夜発の方にご迷惑をおかけしました。最初から合流場所を JR 柏原駅にすべきだったと思います。山行そのものは、好天に恵まれ、良い山行でした。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

確認 (リーダー)
大
01/03/04
矢

作成 (報告者)
大
01/03/04
矢